

議 事 録

会議名	釧路市障がい者自立支援協議会 生活支援部会		
事務局	釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談センター		
開催日時	令和元年6月10日(月) 15:00~16:30		
開催場所	釧路市総合福祉センター 1階大ホール		
出席者	委 員	博田部会長(釧路市社会福祉協議会) 井上副部会長(生活介護事業所あゆみ) 西川副部会長(共同生活サポートセンターあしすと) 今野(そんぐケアセンター) 三浦(音別町行政センター保健福祉課) 大峠(そよかぜ釧路ケアセンター) 森谷(あいけあ釧路ヘルパーセンター) 伊藤(すてっぷ) 菅原(ひかり自立センター) 煙山、佐藤(丹頂の園) 川口、森本、福井(さわらび学園) 上野(大きな木) 新岡(プリズム) 高橋(鶴が丘学園) 小山内、高橋(グループホームサハス) 佐野(多機能型通所施設はばたき) 藤山(くしろ地域生活支援センター) 竹川(グループホームブルミエ) 瀬藤(すみれホーム) 早川(グループホームいずみ) 古館(プロムナード釧路) 遠藤(共同生活援助事業所あおぞら) 菊地(グループホームいまい) 柏木(グループホームアルケー) 追分、工藤(釧路養護学校) 成田(中標津高等養護学校) 原田、齋藤(鶴野支援学校) 長崎(ハート釧路) 敬称略 議事録: 赤田(アットホームびちかーと) 出席者 35名	
	その他	なし	
	傍聴者	なし	
	事務局	島、鈴木、高杉(釧路市障がい福祉課) 近藤、脇田(釧路市障がい者基幹相談支援センター)	
会議次第	1. 開会 2. 挨拶 釧路市障がい者自立支援協議会 生活支援部会長 博田秀治 3. 議事 (1) 地域生活支援拠点整備事業について報告 (2) グループワーク ・サービス提供の現状と課題 ・10月の研修会について (3) GH、生活介護、自立訓練利用状況報告 (4) その他 4. 閉会		

議 事 内 容

2. 挨拶

生活支援部会長 博田部会長より挨拶

3. 議事

(1) 地域生活支援拠点等整備事業について

・地域生活支援拠点等整備イメージとしての資料が配布され、2020年度スタートに向けて、地域生活支援拠点整備事業の相談支援機能、緊急時の受け入れ・対応についての進捗状況が説明される。

生活支援部会では、前回の部会后、小部会にて緊急時の受け入れ・対応について協議しているところである。また、市全体の動きとして、地域生活支援拠点整備事業プロジェクトチーム会議を開催し、その中で、生活支援部会では、短期入所の利用に係るルール化や空きスペースの利用による定員超過での受け入れ可否について検討するよう指示がでており、今後も小部会にて協議を継続する予定である。

現時点では、短期入所の利用に係る協議が中心であるが、将来的には、短期入所以外のサービスも含め、各サービスがどのような形で地域拠点を担っていけるかを検討することが大切と考える。

(2) グループワーク

サービス提供の現状と課題、10月の研修会について、訪問系、居住系、日中活動系に分かれて、グループワークを実施した。

【グループワークの結果】

①訪問系

- ・人手不足の問題がある。
- ・精神疾患を持っている方が多く、精神疾患のある方との接し方や強度行動障がいのある人との接し方、寄り添い方について学びたい。

②居住系

- ・虐待防止に関する話を聞きたい。
- ・高齢の方々が増えてきているため、介護技術を学びたい。
- ・高等部の先生からは、生徒が卒業後うまくやっていけるか、対人関係やコミュニケーションの部分に不安がある。
- ・利用者の認知の衰えが見られる。
- ・保護観察中の方、触法障がい者の受け入れや、発達障がいのある方への対応について学びたい。

③日中活動系

- ・人材の育成の仕方や確保の方法。
- ・職場内でのスーパーバイズのあり方について

※これらを役員会でまとめて10月の研修の開催にあたる。

議 事 内 容

(3) GH、生活介護、自立訓練利用状況報告について

- ・事務局より、利用状況集計表が配布。今後は、相談支援部会にも情報提供する。
- ・今回、GHの実態調査が出来なかった為、後日協力を願いたい。

(4) その他

- ・おんべつ学園主催の研修会について案内。

以上